



例会場：ホテル プエナビスタ / 例会時間：第1・2水曜日 19:00~20:00, 第3・4・5水曜日 12:30~13:30

「お城を見つめ直す」

点 鐘 12:30

司 会 S.A.A・プログラム 宮澤クラブ管理委員長

斉 唱 「手に手つないで」

ゲスト紹介

講師；溝上 哲朗 様

会長あいさつ

今日は溝上哲郎様にはお忙しい中、外来者講演を快く受けてくださりありがとうございました。2年ほど前に城下町の成り立ちに関して、先生が自ら研究された成果を出版した本を読み、その斬新さに驚き感動いたしました。それ以来、お城という名の付いた当クラブの会員全員に是非知って欲しいと思っており、今回私の年度でその機会を得ることができ本当に嬉しい限りです。今日はよろしくお祈りいたします。



西牧会長

西牧会長

幹事報告

藤田幹事

- ①ロータリー適用相場変更のお知らせ。
ロータリー・レートが12月1日から1ドル106円(現行102円)に変更されます。
- ②「ダメ。ゼッタイ。」普及運動募金(薬物乱用防止)の御礼。
募金8,450円を麻薬・覚せい剤乱用防止センターへ送金致しました。ご協力ありがとうございました。
- ③本日例会終了後、定例理事会開催。
- ④各RC例会変更のお知らせ。

[大町RC]12月7日 移動例会(夜間例会；クリスマス家族会)、12月21日 移動例会(夜間例会；くろよんロイヤルホテル)、12月28日 休会(クラブ指定) / [白馬RC]12月13日 移動例会(夜間例会；クリスマス家族親睦会)、12月27日 休会(クラブ指定) / [松本東RC]12月16日 移動例会(夜間例会；クリスマス家族会)、1月6日 移動例会(夜間例会；新春例会)、12月23日 休会(法定休日)、12月30日 休会(クラブ指定) / [松本南RC]12月21日 移動例会(夜間例会；クリスマス家族会)、12月26日 移動例会(年越そば例会；駅ビル4Fいいだや) / [松本空港RC]12月21日 移動例会(夜間例会；クリスマス家族会) / [松本西南RC]12月21日 移動例会(夜間例会；クリスマス家族会)、12月28日 休会(クラブ指定)

出席報告

山崎クラブ管理委員

会員総数 22 名(内出席規定適用免除欠席者 3 名)
本日の欠席者 4 名(他 2 名は事前メイキャップ済)
出席率 78.95%
前々回(11/9)修正欠席者 5 名 出席率 75%

ニコニコボックス報告

山崎クラブ管理委員

コメント ◇今日は、溝上様、よろしくお祈りいたします。西牧君 ◇溝上先生の講演、楽しみにしています。藤田君 ◇溝上先生、今日はよろしくお祈りいたします。西川君 ◇先日、青山会のセミナーに家内と参加させていただき、とても良い会でした。又楽しみにしています。井筒君 ◇指へのブロック注射でグリグリされ、痛かった。会長エレクトの記載を見て、背筋が伸びた気がしました。最近ピリリとする気候と共にピリピリすることが多くなっています。児野君 ◇早いですね、月日のたつのは。今年もあと1ヶ月。やり残した事ばかり多くて、困っています。大久保君 ◇明日から師走。変動の1年。何事もなく、あとひと月すぎるのでしょうか?! 宮澤君 ◇明日から師走。今年も残り1ヶ月となりました。良い年として締めくくりたいものです。中島君 ◇あと1ヶ月で今年も終了ですが、という事はあと7ヶ月後に新年度スタートですが……(意味深)。宮坂君 ◇身内の不幸があり、ご無沙汰してしまいました。原ガバナーと亡くなった叔父はバスケットで面識があり、ここにもロータリーとのご縁があり、有難く思っております。山崎君
早退◇内藤君 **遅刻**◇上條君 **なんとなく**◇丸山君

指名委員会からの報告

征矢委員長代理 西牧会長

2018~2019年度の会長候補者並びに2017~2018年度の副会長候補者および理事・役員候補者の発表。
配布資料；「講演資料；松本景観ルネサンス—古くて新しい松本の景観—」「幹事報告」「会報No.18・19」「2017~2018年度役員候補者氏名(案)」「ガバナー月信12月号」「Rの友12月号」

～ プログラム ～

《外来者講演》

講師紹介

藤田幹事

溝上 哲朗 (みぞうえ てつろう) 様

医療法人みぞうえ内科医院 医師
古地図愛好家。著書「松本景観ルネサンス」。1962年生まれ。松本市出身、松本市在住の医師。松本城の研究を行い、自費出版もしている。北アルプスとの関係性など、今までとは一味違った松本城の魅力を発信しています。

講演 ; 松本景観ルネサンス
—古くて新しい松本の景観—



清上哲朗様

「城主の絶景」

この景色は、私が一番好きな景色です。しかしこの景観はただ美しいだけではないという事に気づいたのです。大袈裟に言えばこの景観の正体を発見したという事になるのです。

今回は、その発見に共感していただければ非常に嬉しく、またこの発見と共感が、今後の松本の発展の要になりうるのではないかと考えております。

3年前、ゴールデンウィークに私が撮ったスナップです。松本城から見える常念岳の絶景には秘密があったのです。それを解く手掛かりは江戸時代の古地図にありました。この写真を撮った1ヶ月程前、古地図を手に松本城への道をたどりました。着いた先のこの景観、その途端まるで雷に打たれたようにこの景観の正体を直観しました。嬉しくて眠れないほどでした。皆さんにも同じ興奮を味わっていただきたいと思います。



現在の松本の道筋が江戸時代の道筋と殆んど同じであるという事実に強く惹かれるようになりました。松本は南北に長い城下町で、その中心に松本城を置いています。松本は標高600m前後の山岳都市で、周囲を美しい山々に囲まれています。実はこの山々も江戸の昔と変わりません。

松本の町を歩くうちに気づいたことがあります。いくつかの通りが山の頂に向かって真っ直ぐに伸びているという事に気づきました。

城下町北の御徒士町(おかちまち)の通りは袴越山に向かって真っ直ぐに伸びています。松本市重要文化財高橋家がある通りです。

城郭の中の東西の通り裏小路(うらこうじ)は美ヶ原に向かっていています。江戸時代に東門三の丸がありました。

城下町南の天神小路(てんじんこうじ)もまた美ヶ原に向かっていています。突き当りに深志神社の鳥居が見えています。

城下町東の餌差町(えさまち)からは40km先の乗鞍岳山頂を射貫いています。

はたして山へ向かうこれらの空間は偶然の産物なのでしょうか。山形県鶴岡市も城下町の名残を今に留めています。



松本の町を歩くうちに気づいたことがあります。いくつかの通りが山の頂に向かって真っ直ぐに伸びているという事に気づきました。

城下町北の御徒士町(おかちまち)の通りは袴越山に向かって真っ直ぐに伸びています。松本市重要文化財高橋家がある通りです。



実はその空間を計画的な空間デザインと考える研究者がいます。山へ向かって直線的な見通しの景観を“ビスタ(vista)”と呼んでいます。また、特に山をめがけて道路などを造ることを“山当て”と呼んでいます。私の知る限り、これまで松本城下町の“ビスタ”や“山当て”について語られたことはありません。どうやら偶然に見つけてしまったようなのです。江戸時代、周囲の美しい山々は日本庭園における借景として意識的に利用されていたのです。無機質で人工的な都市空間の突き当りに山の自然を置き、四季の移ろいを演出する。ここ松本は庭園都市だったのです。この事は大きな驚きでした。

それと同時に新たな疑問がわいてきました。松本の町を歩いてみると、北アルプスってほとんど見られず、特に大好きな常念岳に向かう通りが無いのです。大手門跡から本丸黒門まで登城ルート歩きました。大手門から続く大名小路には常念岳に向かう“ビスタ”はありませんでした。

大名小路のつきあたりは、昔は外堀でしたのでお城には直進できませんでした。東に迂回してお城に向かいます。太鼓門から二の丸に入って黒門をめざします。そこでようやく出会うのが、私が一番好きな景色です。お城の奥深くに突如現れる山紫水明の壮大なパノラマ。常念岳は二の丸に隠されていたのです。城主はこの山に天守の借景という最高の舞台を与えたのです。庭園都市は確かに存在したのです。この景観は市民に愛され、昔から大切にされてきたものです。しかしこの空間を山に囲まれた偶然の産物と言っているふしがあります。歴史文献のどこにも、この景観は殿様が丹精を込めた空間デザインだなどと書いてはありません。

この空間の作為性を証明することは可能でしょうか。それから2年間、辿り着いた結論です。やはりこの景観は「城主の絶景」と呼ぶべき歴史的芸術作品であったのです。気付いた理由は、登城ルートすなわち当時の城主が定めたお城への道筋をお客様の目線で歩いたことにあるのです。客に何を見せ、あるいは何を見せないかという作為が反映されているのです。どこを歩いても常念岳は見えないように、お城も見えないように、町を設計して、限られた人、殿様や大事なお客様だけに黒門の前で初めて「城主の絶景」を見せたのでした。



《本日のまとめ》

- * 「城主の絶景」は時の城主が描いた歴史的芸術作品である。
- * 松本の「文化遺産」として正しく再評価し、世界に発信するべきもの。
- * この景観を保存し、可能な限り再生していくべきである。
- * 「城主の絶景」は今後のまちづくりの根幹、羅針盤となりうる。

お礼のこトば
点 鐘 13:30

西牧会長
西牧会長